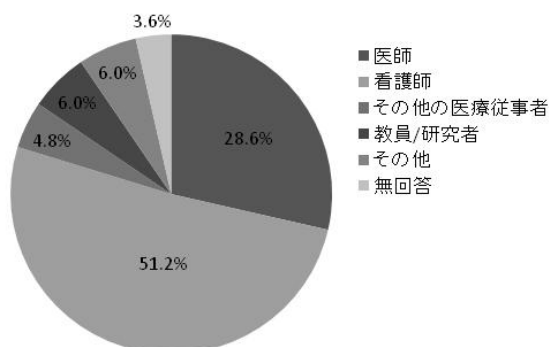


平成 22 年度文部科学省特別経費  
「医療安全能力向上のための効果的教育・トレーニングプログラム開発事業」  
医療安全教育トレーニング開発シンポジウム  
「新たな領域への挑戦」

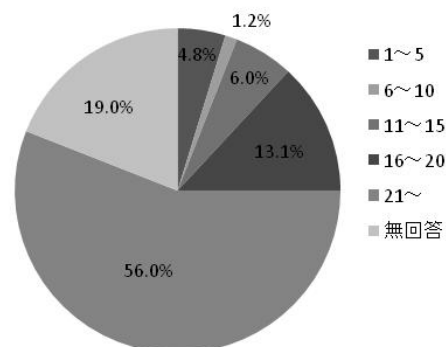
平成 22 年 12 月 25 日  
大阪大学医学部附属病院  
中央クオリティマネジメント部

# アンケート集計結果(アンケート回収率 85.7%)

## 1. 職種

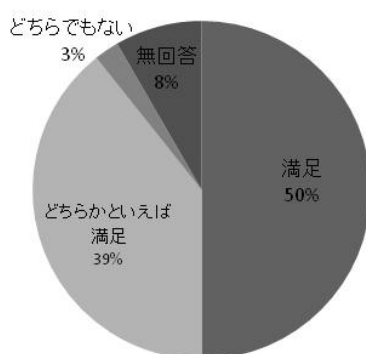


## 2. 職業経験年数



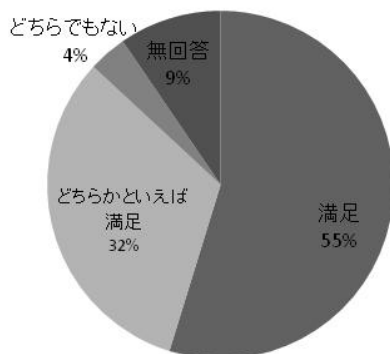
## I. シンポジウム全体について

### 1. プログラム内容についてどのように思われますか？



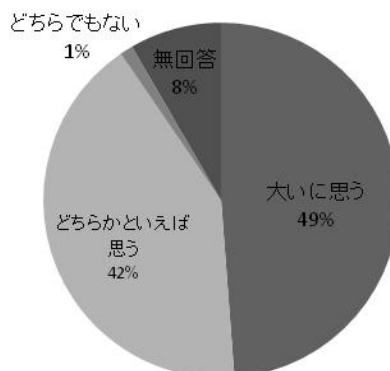
- ・講義とグループワークを混じえたプログラムであり、楽しく参加できた。
- ・より医療の前線での医療安全のツールを学べた。
- ・教育的な内容であり参考になりました。
- ・大満足でした。質が高くワクワクしました。
- ・このような形式が初めてだったので楽しかったです。新鮮な意見が聞け、また頑張ろうと思えました。
- ・グループディスカッションの時間がもう少しあったほうが良い。
- ・ノンスキルの用語の定義がわかりづらく、講演の内容がつかみにくかった。

### 2. プログラム運営全般についてどのように思われますか？



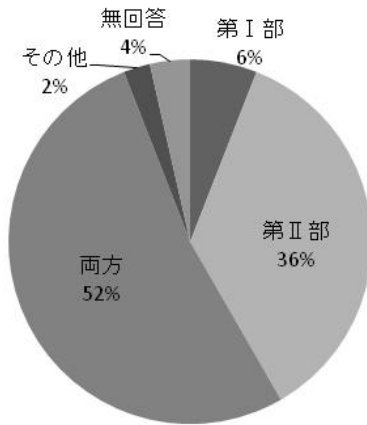
- ・パネリストの発表後に、ディスカッションは効果的。
- ・グループワークで楽しくできました。
- ・手が行き届いていて、非常に理解しやすかったです。
- ・大変素晴らしいです。

### 3. 今回のシンポジウムは、あなたの診療、教育、研究などの業務に役立つと思われますか？



- ・共有財産について、文献学習を進めたいと思った。
- ・院内の状況にあわせて、かみ砕だいていく必要があるため、その点はまだ難しい。
- ・臨床には携わっていませんが、分析など、平素の研究や、医学部生への教育に有用だと思います。
- ・学部教育を行なう為の指導者養成コースが欲しい。

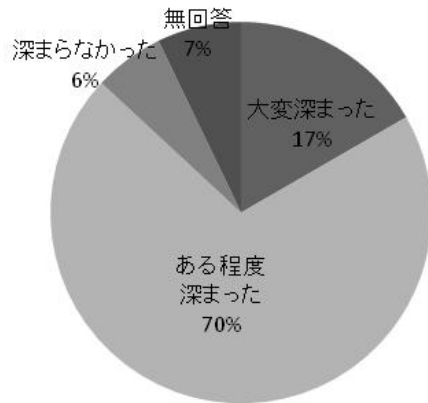
#### 4. 本シンポジウム申込時の関心領域について



- ・医療安全と名のつくものは時間が許せば全て参加して勉強したい。

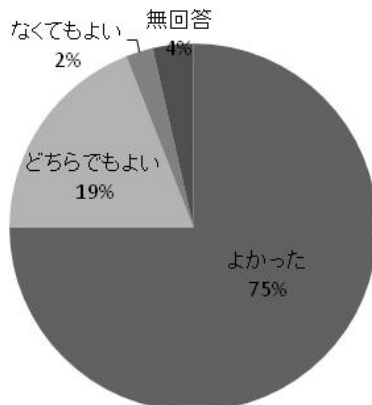
## II. 「医療人養成と大学病院の機能強化に関する取り組み(島居先生)について

### 1. 知識が深まりましたか？



- ・厚労省の方針や取り組みを知るよい機会となりました。
- ・今後の医療安全対策の動向が理解できた。
- ・今後の医学部教育に役立つ内容であった。
- ・時間が短いでももう少し詳しく聞きたかった。
- ・あまり聞く機会がないので良い機会でした。
- ・要点がまとめられていたので良かった。
- ・医師人口の増加対策と今後の人口減少による医療の変容との関係についてもっと話を伺いたかった。

## III. アイスブレイキングはいかがでしたか？

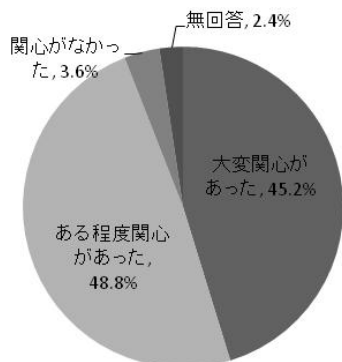


- ・新しい型のアイスブレイキングと感じました。
- ・大変興味深いシステムであった。
- ・いろんなアイスブレイキングあるのだと改めて学びました。
- ・おもしろかった！！すぐ集計できて感動した。
- ・リラックスタイムになりました。
- ・笑いが少なかった。
- ・次への導入にもなってよい。
- ・やはり、こういう企画は大事ですね。

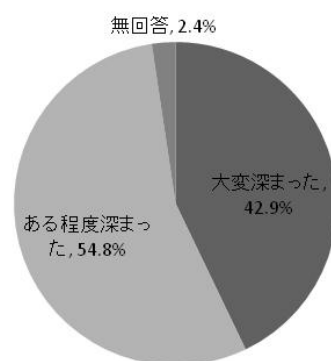
#### IV.【第 I 部】国際医療の質・安全学会の遠隔地プログラムについて

##### 1. 「より良い医療をより低いコストで～共有財産の管理～」の内容の評価について

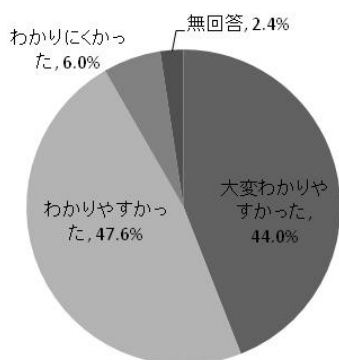
1) 関心のあるテーマでしたか？



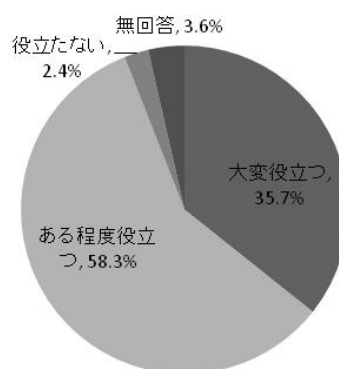
2) テーマに関する知識が深まりましたか？



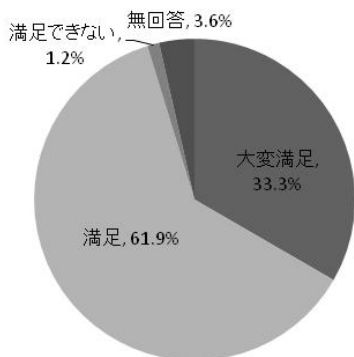
3) 分かりやすい内容でしたか？



4) 今後の業務に役立つ内容でしたか？



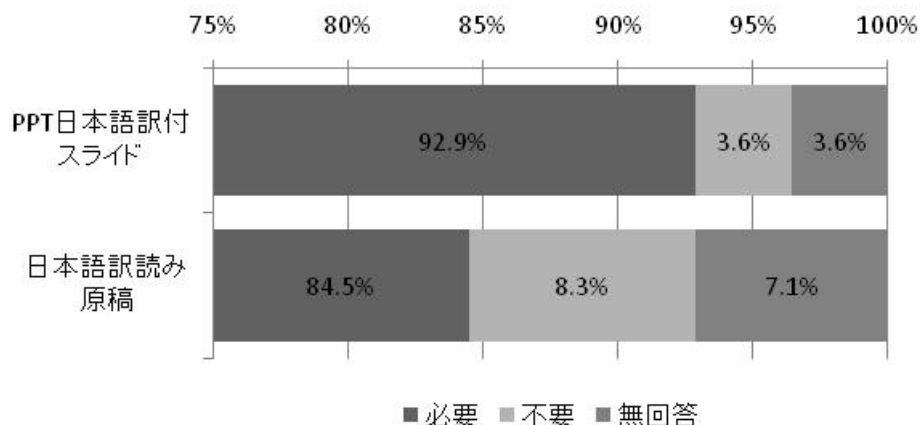
5) 満足できる講演でしたか？



##### 2. 「講演中」に内容を理解するために次の資料は必要でしたか？

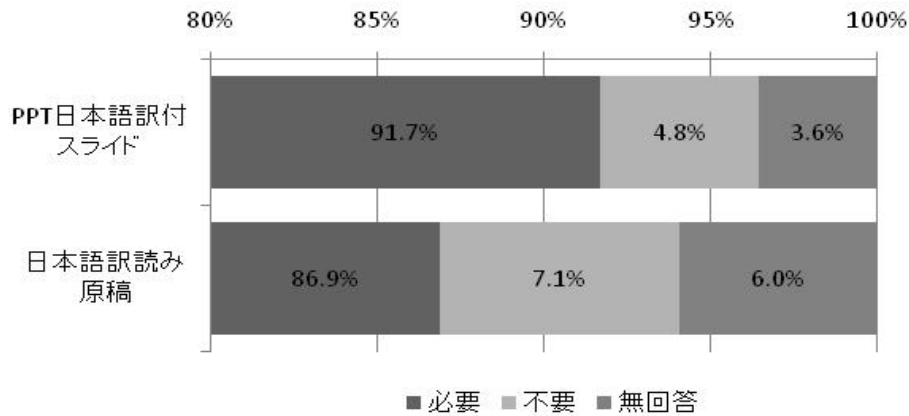
1) パワーポイントの日本語訳付スライド

2) 日本語訳の読み原稿

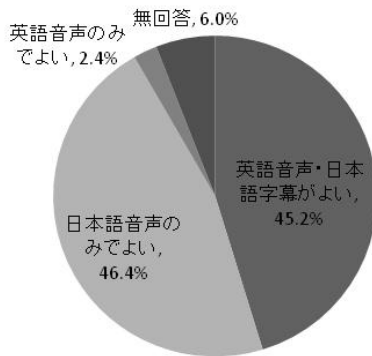


3. 「講演後」に理解を深めるために次の資料は必要ですか？

1) パワーポイントの日本語訳付スライド 2) 日本語訳の読み原稿

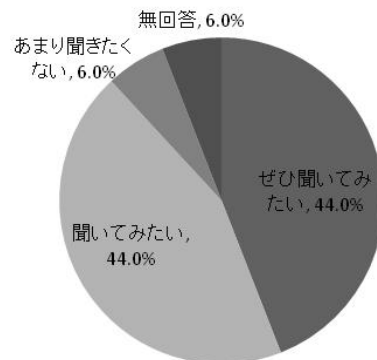


4. 講演の言語について

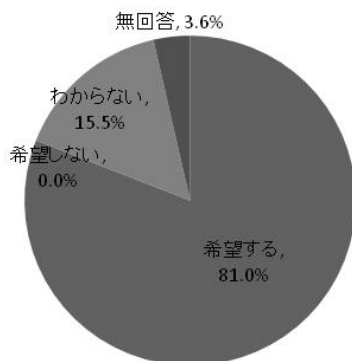


- ・大変なご苦労だったと思います。有難うございました。
- ・大変わかりやすく聞かせて頂きありがとうございました。
- ・専門用語を英語でどのように表現するのかを知ると文献検索等に有効に思う。
- ・階段教室なら良いのですが、今回のような教室の場合、後方だと字幕が見にくいかもしれません。
- ・実際の音声を聞きたかったです。

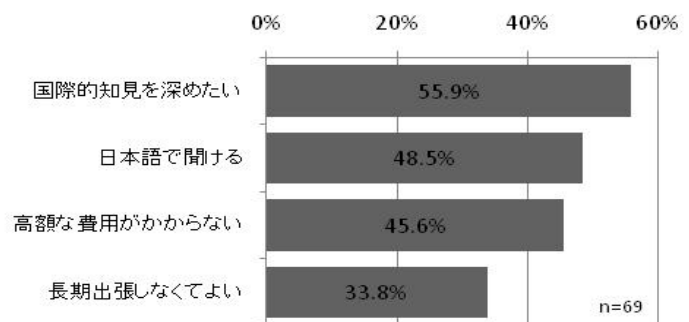
5. 国際学会で行われた他の講演やセッションを日本語訳があれば聞いてみたいですか？



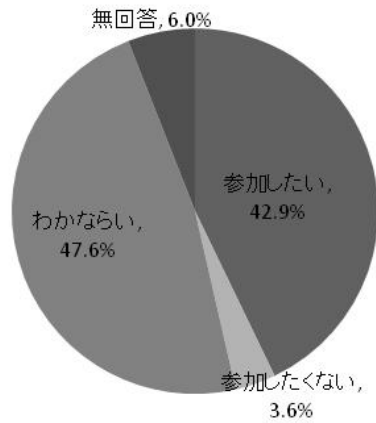
6. 今後も今回のような国際学会 (International Forum on Quality & Safety in Healthcare) の遠隔地プログラムがあれば参加を希望されますか？



参加を「希望する」理由(複数回答)



## 7. 国際学会(International Forum on Quality & Safety in Healthcare)に参加したいですか？

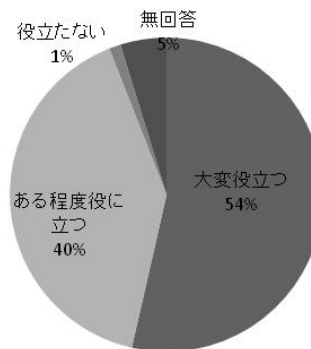
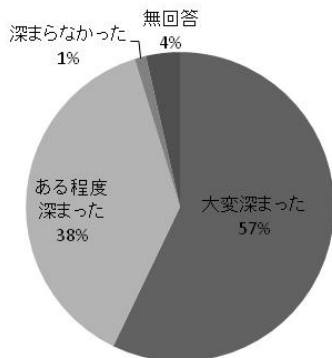


- ・参加してみたい気もしますが、語学力(リアルタイムで理解可能な力)と費用でしょうか。
- ・出張費、出張の為の休み、言語。
- ・職場の理解
- ・通訳、宿泊先
- ・学生実習等との時間的重複がなければ是非参加したい。
- ・コーディネーターがいて下さると心強いです。

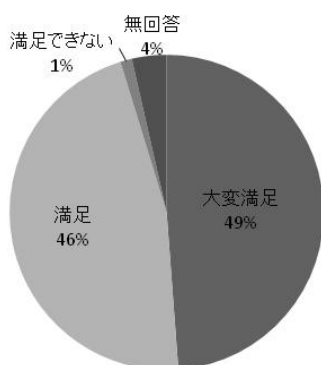
## V.【第Ⅱ部】ノンテクニカルスキルの臨床への導入に向けて

### 1. 「医療安全におけるノンテクニカルスキルの重要性」(高橋先生)の内容について

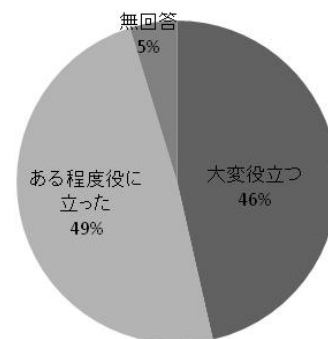
- 1) 関心のあるテーマでしたか？      2) 今後の業務に役立つ内容でしたか？



- 3) 満足できる講演でしたか？

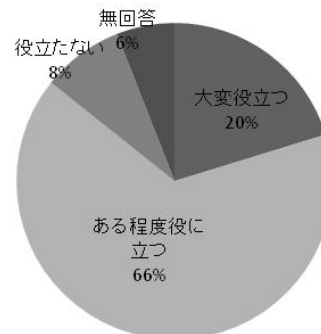
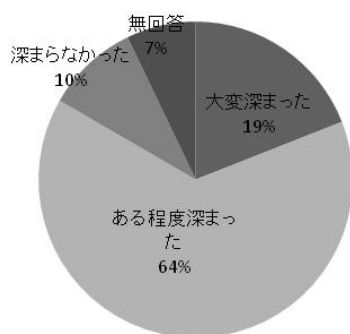


- 4) グループ討議は、講演の理解を深めるのに役立ちましたか？

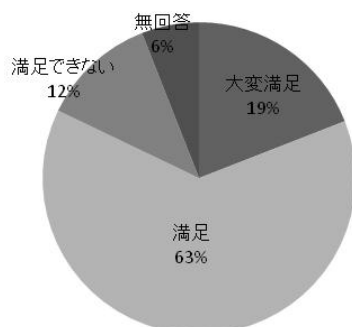


### 2. 「NOTTS の意義と本邦への導入」(円谷先生)の内容について

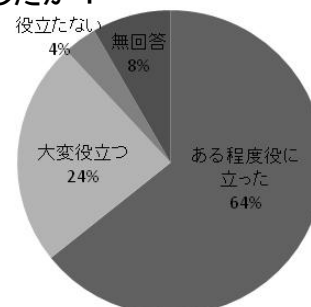
- 1) 関心のあるテーマでしたか？      2) 今後の業務に役立つ内容でしたか？



- 3) 満足できる講演でしたか？



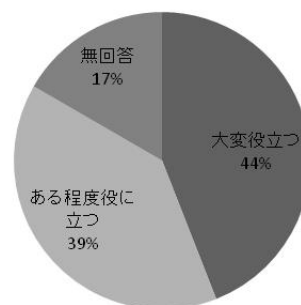
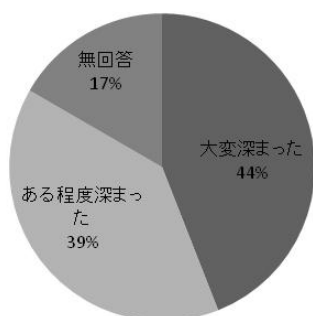
- 4) グループ討議は、講演の理解を深めるのに役立ちましたか？



### 3. 「院内教育現場におけるデブリーフィング手法の活用」(中村先生)の内容について

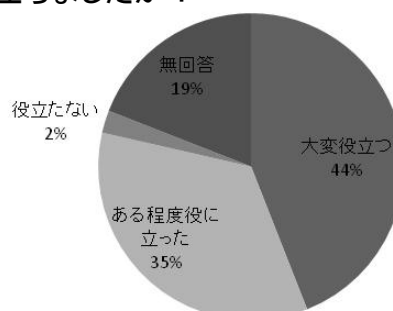
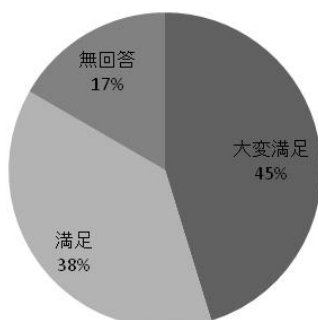
1) 関心のあるテーマでしたか？

2) 今後の業務に役立つ内容でしたか？

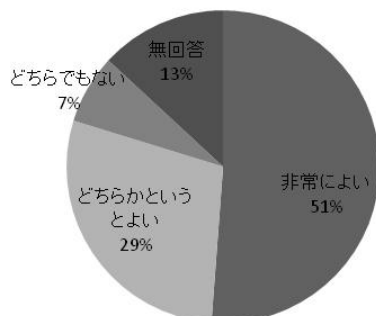


2) 満足できる講演でしたか？

4) グループ討議は、講演の理解を深めるのに役立ちましたか？

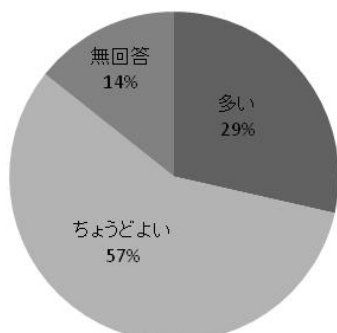


### 4. グループ討議を含めたミニワークショップ形式について



- ・職種や施設を越えての討議は、医療安全、チーム医療という視点を変える上で視野が広がった。
- ・様々な専門性、医療施設での取り組みを把握できる。
- ・考えて表現することは良いトレーニングになる。
- ・講演を聞いただけでは、自分の理解、解釈だけで終わってしまうが、合間に他の人の意見を聞き討議する事で考えが深められ整理もできる。
- ・もう少しグループワークの時間があつた方がよい。
- ・質問に対する回答をいただいた上でさらに討議できればよかったのではと思います。
- ・講演→グループ討議の順は誘導になる。講演の演習にはよい(従属的)→目的が違う グループ討議→講演の順は発想が広い。講演は補助的になる(デブリーフィング)(主体的)→目的が違う
- ・時間管理が難しかった。

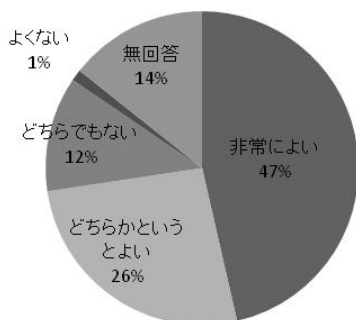
### 5. 各グループの人数について



- ・職種が偏らず色々な視点があつてよい。
- ・すばらしい面々でした。
- ・5~6名がいいように思います。
- ・5~7人がベストだが、やむを得ない。
- ・この人数がMaxのように感じる。
- ・もう少し少数でも良いと考える。
- ・8名でのディスカッションは、上手にふらないと短時間では困難。このtimeなら6名くらいがbetterでは？
- ・10人が限度



## 6. ファシリテーターによるグループ討議の支援について



- ・短い時間で全員が意見を発言できるよう支援して下さり良かった。
- ・短い時間でよくマネジメントされた。
- ・ファシリテーターの深い知見、経験が有効であった。
- ・安心してグループワークできました。
- ・短い時間に意見をまとめるのに非常に難しそうだった。

## 7. 今後、ノンテクニカルスキルの臨床導入や教育トレーニングについて、よいアイデア等ございましたらお聞かせください。

- ・気づきカードや質問カードは、自分の意見を考え直すのに良かった。
- ・情報共有の方法や必要性などを、場を再現したり、video を聞いて、トレーニングするといいが…
- ・ノンテクニカルスキルのうち、何を主にトレーニングしたいのか？によって方法が異なります。
- ・その skill がトレーニングで身につくなら、それでも OK。様々な背景の人が関わり、同じ体験をすることで共に考える場を得たり、協力することを感じることができる。
- ・認知心理学、人間工学の専門家を混ぜて講義や講演があっても良いのではないか。
- ・まずはそういう概念があることを共有してその言葉でつながった人と自然発生的に取り組める良いと思う。
- ・ブリーフィング、デブリーフィングの手法は学生教育においては大変有意義かと思います。
- ・今日のことを機会にこれから勉強します。ありがとうございました。

## VI. その他のご意見

- ・研修の内容、方法、グループワークともに、質的に高いものであり有意義でした。とても楽しい一日でした。
- ・大変刺激的な研究会で大変勉強になりました。
- ・実際の医療現場における取り組みについての講演で、他院に対しても示唆に富んだお話をうかがうことができ、大変勉強になりました。
- ・いつも新たな切り口で、セミナーなども計画されているので、指導者としての立場からも楽しく、分かりやすい教育方法が学べ、活用させて頂いております。その裏では大変な準備とご苦労があるかと思いますが、次の機会も楽しみにしております。
- ・色々な話が聞けて、大変勉強になりました。有難うございました。
- ・非常にぜいたくな講師、ファシリテーター、グループメンバーで大満足です。自分の break スルーにしたい。
- ・今回のような、多職種グループワークはとても良かったです。
- ・とても有意義で楽しい研修を受講させて頂き、誠にありがとうございました。久しぶりに刺激的で身になる研修でした。
- ・ワークショップで他の施設の方との意見交換もでき貴重な時間を過ごすことができ、今後の当院での取り
- ・ノンテクニカルスキルを高めることは、医療安全の分野だけでなく、組織管理の面から見てもとても大切だと思います。ノンテクニカルスキルの低さが如何に集団のコンプライアンスを下げて、多くの事項に対する問題を引き起こしているのか、研究者として示す必要があると思います。
- ・全体的に消化不良？（自己学習不足？）、研修体系としてどのように実践するかが課題です。

- ・大変素晴らしいシンポジウムをありがとうございました。知的刺激を受けました。  
組みに参考にしたいと考えます。
- ・何故今回取り上げた事例がNOTTSとデブリーフィングだったのか。他には何か有効なツールはないのか。
- ・部屋が明るく、後ろの方の席ではスライドの字が見にくかったです。
- ・グループ討議した時に出た内容(提出カード)を一覧にしたものが頂くことができれば助かります。